

家庭ごみの注意事項について

町では、埋立処分場の延命化を図るため、燃えるごみ以外のすべてのごみを手選別してリサイクル処理しています。平成27年4月からの『ごみの分け方出し方』、『ごみ収集カレンダー』は26年度と同様ですが、下記のことにご注意してごみを出すようにご協力をお願いします。

①燃えるごみについて

ごみの減量化のため、燃えるごみとして排出される衣類、古紙類のリサイクルを推進しています。

衣類は燃えるごみとして回収し処分していますが、その中にはまだまだ着られるものが多く含まれています。こうした古着を回収するため、平成26年11月24日から回収ボックスを西北五クリーン社（菖蒲川字前田142の3）に設置していますのでご利用ください。

古紙類（ダンボール、新聞紙、紙パック、雑誌・雑紙）の回収ボックスも西北五クリーン社に設置しています。特に、菓子箱、ティッシュ箱、紙袋などの容器包装紙やメモ紙、カレンダー、リーフレットなどの雑紙は、古紙としてリサイクル可能ですので分別にご協力ください。



②燃えないごみについて

燃えないごみは、作業員が手選別しています。燃えないごみの中には、カン、ピン、ペットボトルなどの資源ごみや燃えるごみが混入し選別作業に支障をきたしています。

特に、ペット用品（猫砂）や燃え殻は選別作業に支障をきたすため、衛生面からも燃えるごみとして出すようにご協力をお願いします。

③27年4月からの収集カレンダーについて

昨年度と同様の収集日程となります。その際、4つの地区に分けて収集しており、4種類の収集カレンダーがありますので、お住まいの町内の収集カレンダーであることをご確認ください。3月中旬に毎戸配布する『27年度ごみ収集カレンダー』をご確認ください。※ごみ収集カレンダーは上半期（4月から9月）と下半期（10月から3月）の両面印刷となっています。



■お問い合わせ先

町民生活課 くらしの窓口班（内線151）

農業大学講座開講のお知らせ

町では農家の皆さまの生産技術向上や経営安定のため、各関係機関、団体の協力のもとに農業大学講座を開講します。

●開催期日 平成27年2月23日（月）～25日（水）

●開催場所 鶴田町農村環境改善センター「豊明館」

■お問い合わせ先

産業観光課 農業振興班（内線293）

期 日	時 間	講義内容	講 師
23日 （月）	10:30～10:40	開講式	町長 相川正光
	10:50～11:50	観光農園を核とした産直、加工等への取組、美味しいリンゴジュース～直売活動で販路拡大、収入アップ～	青森観光りんご園 川村美紀氏
	13:00～16:30 （定員38名） ※申込必要	視察研修（冬の農業、体験農業への取組～冬場のアスパラガス、レタスのハウス栽培～）	中泊町簿市 合同会社 イネ子の畑から 佐藤イネ子氏
24日 （火）	10:20～11:20	「青天の霹靂」について～県産米新品種の概要～	県産業技術センター 農林総合研究所 須藤 充氏
	11:30～12:00	米価下落等に対する経営対策～今後の稲作農業～	西北地域県民局 農業普及振興室 野呂 茂道氏
	13:00～14:00	ぶどう大粒種の導入について～シャインマスカットを中心に～	JA 全農あおもり 営農指導課 塩谷 彰氏
25日 （水）	14:10～15:10	水田転作に適したリンドウ栽培～鶴田町における試験結果～	西北地域県民局 農業普及振興室 齊藤 聡子氏
	9:00～10:00	（直売所向け）野菜、花き品種の特徴と栽培のポイント 農業に役立つ気象情報	（有）澁谷種苗店 代表取締役 澁谷 幸雄氏
	10:10～11:40	リンゴ新品種（赤肉品種等）の状況と従来型品種の特徴について	板柳町 産業振興公社 りんごワーク研究所 今 智之氏
	11:50～12:00	閉講式	町長 相川正光

【広報つるた有料広告】

五所川原第一高等学校 通信制課程 前期入学生募集

高校卒業資格を手に入れよう

- 今の学校になじめない・・・という方
- 体力的に毎日は無理・・・という方
- 一度辞めてしまった・・・という方

通信制なら、どうでしょう？

☆就学支援金（高校無償化）も適用されます。詳しくは下記まで、お問合せください。

出願期間

☆平成27年2月16日
～ 4月2日

出願書類の審査と面接結果
で合否を判定します。

入学から卒業まで



〒037-0044 青森県五所川原市字元町6-1
TEL 0173-26-6662 FAX 0173-26-6663

ホームページ <http://goichiko.jp/tsushin/>
メールアドレス goichi_tushin1@tenor.ocn.ne.jp

水・日/休校日